

1. 若手研究者等の受入れと育成

(1) 科学技術特別研究員（日本学術振興会）

研究課題名(期 間)および概要	氏 名 (受け入れ研究員)
1) 企業におけるメンタルヘルス対策の方法論の開発(平成 14 年 1 月～16 年 12 月) 概 要:日本の企業におけるメンタルヘルス対策の実態を調査し,メンタルヘルス問題を把握する質問紙を開発する。また,企業でメンタルヘルスシステムを導入して効果評価を行い,有効なメンタルヘルス対策の方法論を開発する。	福井(山本)里江 (原谷隆史)

(2) 外国人特別研究員（日本学術振興会）

研究課題名(期 間)および概要	氏 名 (受け入れ研究員)
1) 医療介護従事者における皮膚病と筋骨格系障害の発症とその要因に関する疫学的研究(平成 15 年 9 月～17 年 9 月) 概 要:介護従事者における手腕部の皮膚障害や筋骨格系障害の発生状態や発生要因を調査・解析して,増加しつつある介護労働者における健康障害の実態を把握する。	デレック スミス [Derek Smith] (王 瑞生)

(3) 重点研究支援協力員（科学技術振興事業団）

研究課題名, 概要および期間	氏 名 (受入れ研究員)
1) 内分泌攪乱物質の神経行動機能に及ぼす影響に関する研究 概 要:内分泌攪乱物質は内分泌を攪乱するばかりではなく,それを介して中枢神経系をも傷害することが疑われている。我々は内分泌攪乱物質による健康影響のモデルとしてダイオキシン類に曝露されている労働者集団の中枢神経系機能変化を評価するとともに,ダイオキシン類曝露による生体分子機構の変化と神経機能変化とを関連づける。 期 間:平成 11 年 1 月～15 年 9 月(吉田吏江) :平成 15 年 10 月～12 月(松本由紀)	吉田吏江, 松本由紀 (小川康恭)
2) 廃棄物焼却施設等作業員のダイオキシン類曝露評価法の研究 概 要:産業廃棄物焼却施設等のダイオキシン類発生源を含む職場の労働者は,一般市民に比し高濃度のダイオキシン類に曝露される可能性がある。本研究の目的は,これら労働者集団のダイオキシン類曝露量と健康指標との関係を疫学的に明らかにすることである。 期 間:平成14年1月～15年12月	大場謙一 (小川康恭)
3) 労働環境中の内分泌攪乱物質・ダイオキシン類曝露と健康影響の評価に関する研究 概 要:2-プロモプロパン等の生殖毒性の検討や,生殖障害の指標の開発。 期 間:平成 11 年 1 月～15 年 12 月	関口総一郎 (本間健資)

研究課題名, 概要および期間	氏 名 (受入れ研究員)
4) 廃棄物焼却施設等作業者のダイオキシン類曝露評価法の研究 概 要: ダイオキシン等作業環境中有害因子に対する個人曝露評価を目的とし, 特異的曝露影響指標の検索・測定法の開発を行う。 期 間: 平成 11 年 1 月 ~ 15 年 12 月	上西理恵 (小泉信滋)
5) 労働環境中の内分泌攪乱化学物質等有害因子による毒性発現機序の解明のための基礎的研究 概 要: 内分泌かく乱物質等の産業化学物質の有害性発現機序を把握するために必要な生物学的アッセイに関する技術開発を行う。 期 間: 平成 11 年 1 月 ~ 15 年 12 月	小林輝一 (小泉信滋)

(4) 大学からの研修生

研究課題名	氏 名(大学名) 受け入れ研究員
1) 化学物質による神経障害の神経化学的解析	佐藤 潤(北里大学) 本間健資
2) ラットにおける臭化難燃剤投与の次世代影響	大美典子(北里大学) 本間健資
3) 労働現場における化学物質曝露による生体影響の評価手法	西田 満(北里大学) 小川康恭
4) エアロゾル粒子の光学特性による成分分析法の開発	藤田一成(東海大学) 明星敏彦
5) 内分泌攪乱物質の生殖毒性への影響	渡部すみ子(杏林大学) 王 瑞生
6) ストレスと免疫についての実験的研究	山川泰明(岡山大学) 中田光紀

(5) 大学からの学外実習生

大 学 名	受け入れ研究員	受け入れ学生数
1) 東京大学医学部公衆衛生学学外実習	澤田晋一	4
2) 岡山大学医学部衛生学学外実習	久永直見	1

2. 大学への支援（非常勤講師，講義・実習等）

（1）非常勤講師（講義，実習等を含む）

名 称（担当講義実習名）	氏 名
1) 東京医科歯科大学(医学部,分子腫瘍学)	三枝順三
2) 東京大学(医学科,公衆衛生学)	澤田晋一
3) 東京大学(健康科学・看護学科,産業保健各論)	北村文彦
4) 東京大学(工学部,環境公衆衛生学)	北村文彦
5) 武蔵野大学(人間関係学部,実験演習)	岩切一幸
6) 女子栄養大学(栄養学部,職域保健学)	小川康恭
7) 山梨大学(医学部,産業保健)	原谷隆史
8) 三重大学(医学部,公衆衛生学)	荒記俊一
9) 三重大学(大学院医学系研究科,公衆衛生学)	久永直見
10) 岡山理科大学(理学研究科,労働衛生工学)	神山宣彦

（2）その他の支援

名 称（支援項目）	氏 名
1) 東京大学(名誉教授)	荒記俊一
2) 東京大学(医学科同窓会監事)	荒記俊一

3. 行政・労働衛生機関等への支援および講師，講演等

(1) 行政への支援

- 1) 厚生労働省労働衛生専門官研修(28人，講義と所内研究施設見学)
- 2) 労働安全衛生法によるGLP査察(2人，8件)
- 3) 清掃従事者のダイオキシンばく露による健康影響に係る調査研究委員会による健康調査および事業所への報告(14件，14ヶ所)

(2) 労働衛生機関等への支援

-
- 1) 中央労働災害防止協会「化学物質管理の国際調和に関する説明会」講師
 - 2) 同 心理相談専門研修
 - 3) 同 ダイオキシン類作業従事者特殊教育インストラクターコース講師
 - 4) 同 有機溶剤作業従事者インストラクターコース講師
 - 5) 産業医学振興財団 産業医学専門講習会講師
 - 6) 国際協力事業団 国際協力事業団専門家派遣前集合研修
 - 7) 海外技術者研修協会(AOTS)東京研修センター 2003年度ASEAN化学産業における環境対策に関する研修(GHS関係)
 - 8) 日本作業環境測定協会 作業環境測定士指定講習
 - 9) 同 統一制度管理講習会
 - 10) 岡山県労働基準協会連合会 労働衛生管理講習会
 - 11) 広島県労働基準協会連合会 労働衛生管理講習会
 - 12) 東京大学医師会 産業医研修会
 - 13) 神奈川産業保健推進センター 神奈川産業保健交流会研修会
 - 14) 富山県医師会 産業保健研修会講師
 - 15) 川崎市環境局 衛生管理者講習会
 - 16) 川崎市環境局 メンタルヘルス講習会
 - 17) 化学工業日報社 実務セミナー講師
 - 18) 三菱ウェルファーマ(株) 大阪睡眠を考える会講師
 - 19) 日本エアロゾル学会 エアロゾル基礎講座
 - 20) 愛知医科大学 産業医講習会
-

(3) 研究成果の提供

-
- 1) 本間健資(2003年4月)トヨタ自動車北海道(株)へ化学物質の有害性評価に関してコメント。
 - 2) 奥野 勉(2003年)溶接の安全衛生に関する文献を調査し、日本溶接協会安全衛生・環境委員会に提供。
 - 3) 澤田晋一(2003年5月)民間保険株式会社へ冷凍倉庫作業基準の関連文献情報の提供。
 - 4) 久保田 均(2003年12月5日)専門図書館協議会関東地区協議会ニュース誌へ図書館レファレンスサービスに関する情報を提供。
-

4. 海外協力

(1) 国際協力事業団 (JICA)

名称(内容)	氏名
1) 短期派遣専門家としてマレーシア国立労働安全衛生センターにおいて振動に対する労働衛生対策に係わる技術指導(労働安全衛生能力向上計画プロジェクト,平成15年6月)	前田節雄
2) 短期派遣専門家としてマレーシア国立労働安全衛生センターにおいて職場のメンタルヘルスに関する技術指導(労働安全衛生能力向上計画プロジェクト,平成15年7月)	倉林るみい
3) マレーシア国立労働安全衛生研究所能力向上計画のカウンターパート研修の受け入れ(産業精神保健,平成15年3月~4月)	原谷隆史
4) マレーシア国立労働安全衛生研究所能力向上計画のカウンターパート研修の受け入れ(温熱環境,平成15年9月,10月)	澤田晋一
5) マレーシア国立労働安全衛生研究所能力向上計画のカウンターパート研修の受け入れ(暑熱労働環境,平成15年9月)	久永直見
6) マレーシア国立労働安全衛生研究所能力向上計画のカウンターパート研修の受け入れ(産業神経・行動,平成15年10月)	平田 衛
7) マレーシア国立労働安全衛生研究所能力向上計画のカウンターパート研修の受け入れ(重金属による健康障害の診断と予防,希土類元素等が生体に及ぼす影響,平成16年2月)	平田 衛 鷹屋光俊, 小滝規子, 戸谷忠雄

(2) その他

名称(内容)	氏名
1) 中国,三聯職業技術学院において講演および研究指導	荒記俊一